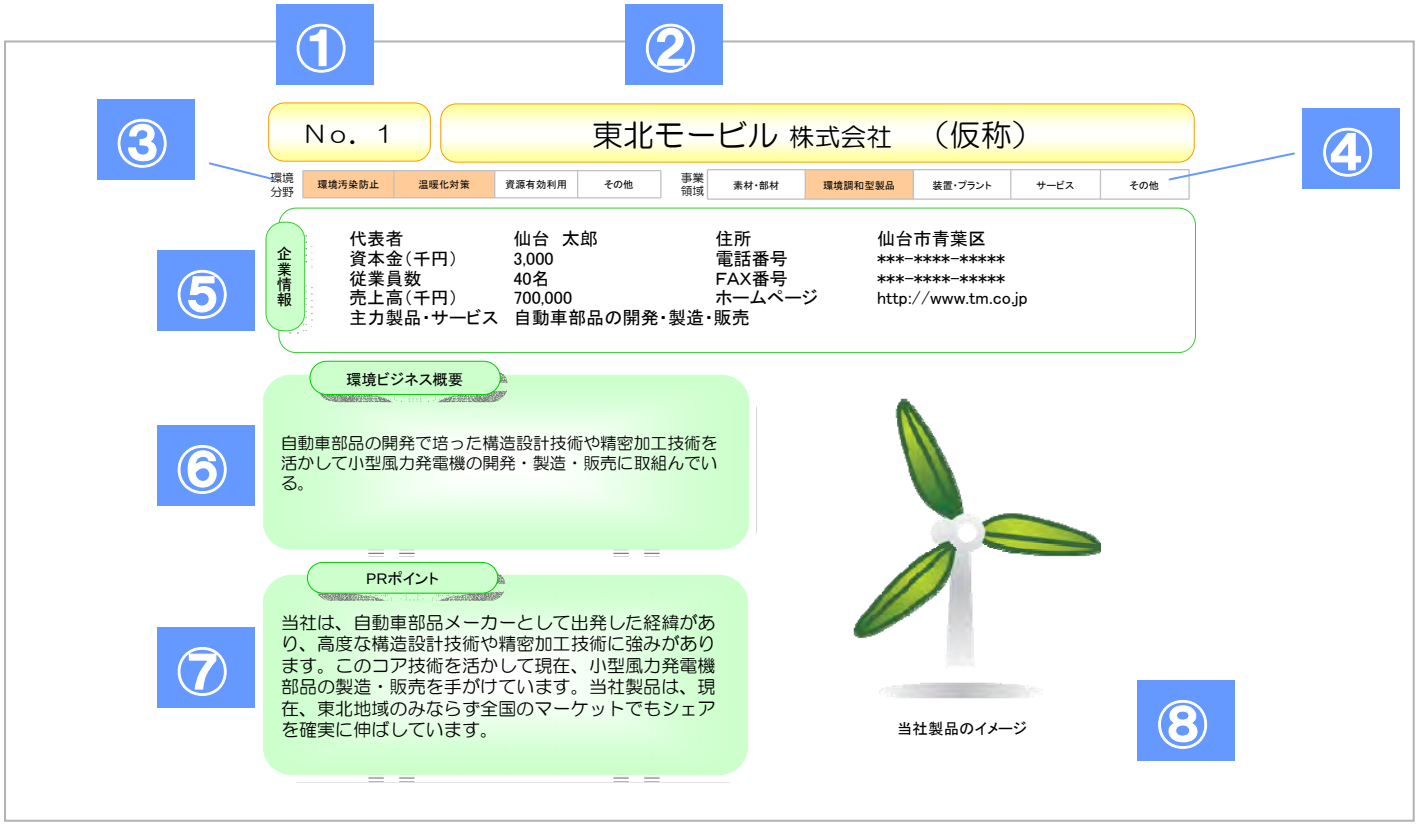
2. 本データ集の見方

東北地域で環境ビジネスに参入している企業を下図のように紹介しています。



項目番号	内容説明
①	整理番号です。インデックスの番号と対応しています。
②	企業名、団体名です。
③	企業等が参入している環境分野に色を付けて示しています。今後、環境ビジネスに取組む意向のある企業の場合は、参入予定分野を表します。環境分野の詳細は下表や前項を参照してください。
④	企業等が参入している事業領域に色を付けて示しています。今後、環境ビジネスに取組む意向のある企業の場合は、参入予定の事業領域を表します。事業領域の詳細は下表や前項を参照してください。
⑤	2009年9月現在の企業等情報を記載しています。
⑥	2009年9月現在、企業等が取り組んでいる環境ビジネスの概要です。今後、環境ビジネスに取組む意向のある企業の場合は、今後取り組もうとしている環境ビジネスの想定内容です。
⑦	このデータ集の読者へ向けた掲載企業からのPRです。
⑧	各企業の環境ビジネスに関連した製品・サービス、施設等の写真です。

《環境分野》とは、その環境ビジネスに取り組むことで、環境負荷低減の効果が期待される分野です。環境汚染防止、温暖化対策、資源有効利用、その他の４つの大分類を設定しています。各分野の詳細は下の表を参照してください。

《事業領域》とは、企業が携わる事業領域を、素材・部材、環境調和型製品、装置・プラント、サービス、その他の５つに分類したものです。各領域の詳細は下の表を参照してください。

《環境分野》

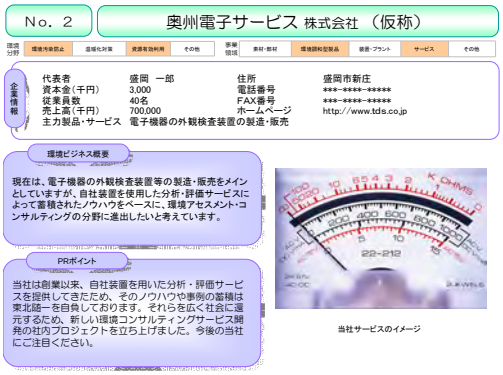
環境汚染防止	温暖化対策	資源有効利用	その他
大気汚染防止・浄化	新エネルギー	リデュース（廃棄物発生抑制）	教育、研修、コンサルティング
水質汚染防止・浄化	省エネルギー	リユース（再使用）	その他、左記に該当しないもの
土壌汚染防止・浄化		リサイクル（再資源化・再利用）	
騒音・振動防止		廃棄物処理	
有害物質処理			

《事業領域》

素材・部材	環境調和型製品	装置・プラント	サービス	その他
環境調和型製品や装置・プラントの一部に使用される素材、部品などの製造、販売	廃棄物等を利活用した製品や、製品自体の使用が環境負荷の低減（公害防止、省エネ効果等）に資するような製品の製造、販売	公害防止装置、環境分析・モニタリング装置、新エネ・省エネ設備、各種プラントなどの製造、販売	評価・コンサルティング業務、廃棄物の適正処理、環境配慮型の製造プロセスやシステムの構築など、環境負荷低減を図るサービスの提供	左記に該当しない事業。環境対応型（環境負荷の少ない）加工技術もここに含む。
【具体例】 再生プラスチックペレット、生分解性プラスチック、イオン交換膜、リチウムイオン電池、バイオ燃料、触媒、省エネ設計デバイス等	【具体例】 リサイクルゴム製品、再生プラスチック製品、電気自動車、省エネ家電、高効率給湯器　等	【具体例】 排煙脱硫装置、有害物質処理装置、太陽光発電装置、バイオマス発電プラント、廃油リサイクル装置、廃棄物処理装置、水質汚濁測定装置　等	【具体例】 環境アセスメント、環境マネジメントシステム導入支援、ESCO事業、廃棄物の収集・運搬・処理、売電事業、メンテナンス事業等	【具体例】 鉛フリーの加工技術、潤滑剤の使用を抑えた塑性加工、断熱コーティング技術

今後、環境ビジネスに取組む意向のある企業

の頁は以下のように色分けしています。

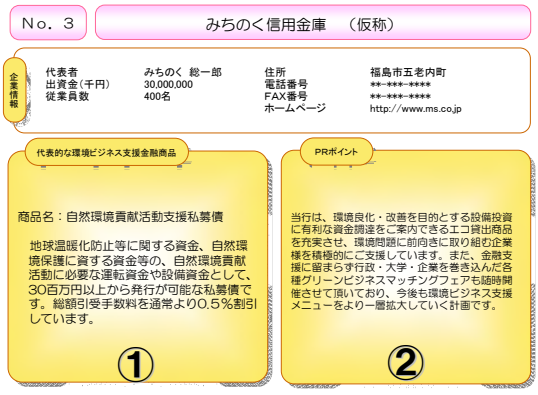


環境ビジネス企業を支援する金融機関

の頁は以下のようになります。

①掲載金融機関の代表的な環境ビジネス支援関連の金融商品の概要です。

②掲載金融機関からこのデータ集の読者へ向けたPRです。



※本頁で例示している企業は全て架空のものです。